

特記仕様書（カヌー（スプリント）競技）

共通項目

- ・仮設物等の仕様・規格については、下記記載のものと同等品以上のものとする。
- ・持込備品が既存備品に紛れることがないようステッカー等で明示すること。
- ・設置するOA機器等については使用者（市実行委員会、主管する競技団体役員等）に応じて操作方法等の説明を行うこと。
- ・既存備品を移動した場合は、競技会終了後、常設の場所へ戻し、原状に回復すること。
- ・作業で発生した資材の残材は全て持ち帰ること。

No	名称	仕様・規格	特記事項
1	15mテント 横幕、雨樋付	別紙図面参照	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法に基づく手続きをすること。 ・建築確認申請の許可取得可能な構造とすること。 ・仮設物許可に関し、受注者が関係機関と協議し、期間内に手続きが完了するよう書類作成等、必要な申請手続きを行うこと。 ・十分な安全対策及び養生を行うこと。 ・風対策を施すこと。 ・カビや汚れのない清潔なものを使用すること。 ・設営完了後の検査において上記条件を満たさない場合は補修・交換等を要求する。 ・テントの連結箇所は雨樋等を設けるなど排水処理を十分に考慮すること。
2	ポップスタンド	上部幅400mm程度 高さ1300～2200mm程度 クリップの厚み5mmまで対応	<ul style="list-style-type: none"> ・へこみ、傷、ゆがみ、汚れ等のないものを用意すること。
3	コース設備	B級コース公認	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人日本カヌー連盟スプリントB級コース公認規定に基づき設置すること。 ・カヌーコースは500mコースとする。 ・レーン幅は9m/レーンとする。 ・練習水域は、φ400mm程度のパイプで区域を明示、ウインチ付きコースポールとの接触のないよう囲いの面積を決定すること。 ・コース公認申請並びにコース公認料の支払いは市実行委員会で行う。
4	発艇審判台	2階建 幅4m×奥行4m程度 階段、雨除け、日除け付き	<ul style="list-style-type: none"> ・水上フロート構造とし、発艇線の延長線上に、風や波による揺れが無いようアンカーにて堅固に固定すること。 ・スタート線延長上にスリット線を設置すること。 ・天幕や横幕など、必要な風雨、日除け対策を施すこと。 ・仮設トイレ（簡易水洗式トイレ）を1基以上設置すること。 ・500m種目と200m種目の両方に対応すること。（移動可） ・設置位置は、測量点をもとに調整すること。
5	決勝審判台		<ul style="list-style-type: none"> ・常設で設置している決勝審判台に、屋根を設置すること。 ・風雨対策を実施し、必要に応じて決勝審判台の補強を行うこと。
6	スタート、フィニッシュ 電子写真判定装置、付帯設備及び業務	Aクラス公認	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール地点に写真判定用カメラタワーを設置すること。 ・カメラタワーは決勝審判台と独立したものとし、1レーンから9レーンまで決勝線を通する艇の先端が撮影（確認）できる必要な高さを確保すること。 ・決勝審判台にバックアップ用のスーパーストップウォッチを1台配備すること。 ・発艇台、決勝審判台にスロー再生が可能な資機材を設置すること。 ・計測ワイヤーとゴールスリットラインにずれが生じないように設置すること。 ・組み合わせ。レース結果、表彰に関する書類を作成すること。 ・動作状況の確認を十分に行うこと。 ・速報表示システムを設置すること。
7	スリット板	2.5m×1m 黄色地に黒色（5～10cm幅）スリット	<ul style="list-style-type: none"> ・水上フロート構造とし、発艇線及び決勝線それぞれの延長線上に、風や波による揺れが無いようアンカーにて堅固に固定すること。 ・設置位置は、測量点をもとに調整すること。
8	ランドマーク	1レーンの表示寸法：2m×2m	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドマークは決勝線の後方約80m付近の水上に設置すること。 ・水上フロート構造とし、アンカーにて堅固に固定すること。 ・素材は風の抵抗を考え、アルミパンチングメタルとする。
9	自動発艇装置	Aクラス公認	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート線上に設置すること。 ・自動発艇装置スタート信号（ピストル）と連動するストロボを設置すること。 ・500m競技終了時から200mコースオープン時まで装置の移動設置が可能であること。 ・競技期間中、装置のメンテナンス要員を配置して対応すること ・動作状況の確認を十分に行うこと。 ・設置の際は既存ワイヤーに補強用の加工を施すこと。
10	消波装置		<ul style="list-style-type: none"> ・スタート側もしくは波風の影響を強く受ける場所には消波装置を設置する。 ・消波装置は水中アンカーにて固定を行うこと。 ・消波装置はオイルフェンス等の波風を緩和できる構造の物を使用する。 ・消波装置の数量は200m程度準備するものとする。

特記仕様書（カヌー（スプリント）競技）

No	名称	仕様・規格	特記事項
11	栈橋		<ul style="list-style-type: none"> ・各栈橋に係る必要数量目安（常設含む） ア）乗降艇栈橋 4m×20m（4セット） 乗艇用及び降艇用として設置する。栈橋レイアウトは実行委員会と協議の上決定すること。なお、数量は水位によって変更する可能性がある。 イ）審判艇用栈橋 4m×20m（1セット） 審判艇等の乗降用栈橋として1基設置。 ウ）緊急用栈橋 2m×10m（1セット） 練習水域及び発艇審判台付近に設置。 ・その他、水位に応じて栈橋までのアプローチ及び仮設置台として672㎡分の栈橋に係る費用を積算すること。
12	競技艇保管架台		<ul style="list-style-type: none"> ・シングル（K-1：96艇、C-1：60艇）、ペア（K-2：24艇、C-2：12艇）、フォア（12艇）用に分けて設計、設置すること。 ・保管する艇が破損等しないよう、緩衝材等で養生すること。 ・十分な安全対策及び養生を行うこと。 ・風等による倒飛壊が生じないよう、設置すること。
13	浮力検査器		<ul style="list-style-type: none"> ・自重7kgの鋼製カゴタイプとする。 ・水槽は、角型タンクとする。
14	検艇用具		<ul style="list-style-type: none"> ・艇長測定器は、シングル艇5.2m、ペア艇 6.5m、フォア艇 11mのケージ式とする。 ・はかりは、計量法に基づく2年に1回の公的機関（計量検定所等）の検査を受け、定期検査済証印が張られたものとする。 ・はかりは、乾電池対応同一タイプのものとし、2台設置する。 ・スチロール製艇置台は、艇長・艇重検定時において艇の安定が図れる仕様とすること。
15	競技艇レンタル設置		<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人日本カヌー連盟公認の競技艇をレンタル設置すること。フォア艇はすべて同一艇であること。